

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	アコライト	Lv.1:		レベル	3
サポートクラス	アルケミスト	Lv.1:	アルケミスト	性別	男
称号クラス				年齢	13
種族	フィルボル			境遇	放浪者
出自 (効果)	王侯貴族			目標	修行

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	8	11	9	8	8	15	12
ボーナス	2	3	3	2	2	5	4
クラス修正	0	2	0	2	1	1	0
他修正							
能力値	2	5	3	4	3	6	4

HP	39
MP	52
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ライフル	50m	-1	7	0	0	0	-5	0
左手									
頭部	ハット					1			
胴部	レザージャケット					4			-1
補助									
装身具	聖印								
能力値			5	0	3	0	6	6	7
スキル									
その他									
総計(右)			4	7					
総計(左)					3	5	6	1	6
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	5			5	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	4			4	+ 2 d
アイテム鑑定	4			4	+ 2 d
魔術判定	4			4	+ 2 d
呪歌判定	6			6	+ 2 d
錬金術判定	5			5	+ 2 d

所持品	
冒険者セット	
バックパック	
小道具入れ	
HPポーション×2	
MPポーション×3	

現在重量: 6  
 最大重量: 13  
 所持金: 1650  
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ラッキースター	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 作成時に幸運基本値+3								
プロテクション	4	3	DR直後	20m	単体	自動成功	5	
効果: 対象が受ける予定のダメージに-[SLd]								
	1							
効果:								
ヒール	1	4	メジャー	20m	単体	魔術判定	1	
効果: 対象に魔術を使用し、【HP】を[3D+CL×3]点回復する								
ガンスミス	1	-	アイテム	-	自身	-	1	
効果: マスクットを取得する								
コンバージョン:ライフル	2	-	アイテム	-	効果参照	-	5	
効果: 所持している錬金銃の名称を「ライフル」に。さらに攻撃力に+[SL×2]、[射程: 50m]に変更する。								
アフェクション	1	-	ダメージ直後	20m	単体	自動成功	1	
効果: 対象が受ける予定のダメージを0に変更する。1シナリオに1回使用可能								
クイックヒール	1	5	イニシチアブ	-	自身	自動成功	1	
効果: ヒールを使用しても行動済みにならない。1シーンに1度だけ使用可能。								
ラピス・フィロソフォルム	1	-	パッシブ	-	自身	-	5	
効果: [種別: 錬金銃、錬金術]の武器を使用した武器攻撃ダメージに+[SL×2]する								
	1							
効果:								
ヒストリー	1	-	パッシブ	-	自身	-	1	
効果: 歴史などに関する事柄について知っているかどうかの【知力】判定に+1Dする。								
ファーストエイド	1	-	メジャー	至近	単体	器用	1	
効果: 難易度10の【器用】判定。成功すると戦闘不能を回復し、さらにHPを1にする。回復した対象は行動済みとなる。								
アルケミストノウリッジ	1	-	パッシブ	-	自身	知力	1	
効果: 錬金術に関する事柄についての【知力】判定において+1D								
効果:								
効果:								

霧の森に入る直前のヴェンガルド峡谷沿いにある住民30人程度のフィルボルだけの村落の王族、という村長の息子。

身長はフィルボルの平均並みで90cm程度。  
 (小学1年生でも100cmはあるらしいのでそれ以下ということになる)  
 髪の色は男女どちらとも取れるショートカット。髪の色は胡桃色。(明るい茶色)  
 髪の長さは男女どちらとも取れるショートカット。髪の色は胡桃色。(明るい茶色)  
 くりっとした大きな瞳、雪のように白い肌。よく女の子や妖精に間違われる。

代々村長は神官が勤めていたため、彼も神官になるべく育てられた。  
 が、一度村に来たネヴァーフが持っていたライフル銃に一目惚れ。以降錬金術にははまる。  
 3歳の子供が100cm近いライフル銃を見つめてうっとりする様子を心配させた。

錬金術、中でも錬金銃にはまること10年。彼がフィルボルでは成人となった日に「代々の習慣に従い、神官としての修行の旅に出よ」と家族会議で告げられる。  
 「これはいい機会だ」と村を出た彼は、神官ではなく銃や錬金術の知識を増やすことしか考えていない。結果的に家族の心配は彼の錬金術への没頭を加速させる。

黒光りする銃身の美しさ。ポーションのちょっとした作り方の違い。鉄道、工場など大規模な錬金インフラ。  
 彼が求める知識、道具は世界中に散らばっている。そして、その知識・経験に終焉などは無い。

性格自体は真面目で気弱なドジっこ、時々マッドサイエンティスト。  
 銃に関して話を始めると止まらない。相手が知識のあるそぶりを見せると延々と質問攻めにする。  
 なお、神官として無能なわけではなくむしろ有能。が、わりと天然でドジをやる時が多く、本人は気にしている。